

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2001-518484 (P2001-518484A)

【公表日】平成 13 年 10 月 16 日 (2001.10.16)

【出願番号】特願 2000-514534 (P2000-514534)

【国際特許分類】

**A 6 1 K 31/205 (2006.01)**

**A 2 3 L 1/302 (2006.01)**

**A 2 3 L 1/305 (2006.01)**

**A 6 1 P 25/32 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 K 31/205

A 2 3 L 1/302

A 2 3 L 1/305

A 6 1 P 25/32

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 18 日 (2005.8.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 L-カルニチン、アセチル L-カルニチンおよびプロピオニル L-カルニチンまたは薬理学上許容されるそれらの塩を混合して含む経口または非経口投与できる組成物。

【請求項 2】 アルコール中毒者の禁断症状およびアルコールに対する渴望を抑制するための薬剤としての請求項 1 の組成物。

【請求項 3】 実質的に健康な人のアルコールの濫用を防ぐための、栄養補助食品、健康食品、医薬食品、滋養品またはそれらの構成部分としての請求項 1 の組成物。

【請求項 4】 L-カルニチン：アセチル L-カルニチン：プロピオニル L-カルニチンまたは薬理学上許容されるそれらの塩のモル比が 6：4：1 から 3：2：1 の範囲である請求項 1、2 または 3 の組成物。

【請求項 5】 該比が 5：4：1 である請求項 4 の組成物。

【請求項 6】 単位投与製剤中に 0.44 から 0.66 g の L-カルニチン分子内塩；0.12 から 0.18 g のプロピオニル L-カルニチン分子内塩または等モル量の薬理学上許容されるそれらの塩を含む請求項 4 または 5 の組成物。

【請求項 7】 L-カルニチン、アセチル L-カルニチンおよびプロピオニル L-カルニチンの薬理学上許容される塩が、クロライド；プロマイド；ヨーダイド、アスパルテート、特に酸アスパルテート；シトレート、特に酸シトレート；タートレート；ホスフェート、特に酸ホスフェート；フマレート、特に酸フマレート；グリセロホスフェート；グルコースホスフェート；ラクテート；マレエート、特に酸マレエート；オロテート；オキサレート、特に酸オキサレート；スルフェート、特に酸スルフェート；トリクロロアセテート；トリフルオロアセテートおよびメタンスルホネートを含む群から選択される前記請求項のいずれか一つの組成物。

【請求項 8】 食品補助品、ビタミン、補酵素およびミネラル物質を含む前記請求項のいずれか一つの組成物。